



高小だより



10月から平常授業が始まります。

令和3年9月30日をもって、三重県に出されていた「緊急事態宣言」が解除されました。いよいよ10月から本校でも平常授業が始まり、子どもたちの日常が戻ってきます。これまでの1か月間、健康管理徹底期間とし、子どもたちの健康状態の把握をていねいに行うとともに、子どもたち同士の接触リスクを低減させるため、午前中は授業(給食後下校)、午後からはタブレット端末等を活用した家庭学習を行ってきました。たくさんの制約がある中、マスク着用、手洗いの徹底、友だちとの距離(1m以上を目安)の確保、給食の黙食など、子どもたちは、一人ひとりが意識して、よく頑張ってくれました。お家の方も子どもたちの健康管理、また、午後のタブレット端末等を活用した家庭学習などに、ご理解ご協力いただき、本当にありがとうございました。今回の対応は、お家の方のご協力があったことだと思います。10月から、学校は平常授業に向け、しっかり感染対策を行なった上で、段階的に平常に戻していきたいと思えます。



閉館中のサオリーナからお借りしているサーモカメラで検温チェックです。

市内の他校と同じく、高茶屋小学校でも、9月になって陽性者が出ています。しかし、子どもたちがしっかり感染対策に関わる約束事を守ってくれたことにより、濃厚接触者を出すことなく、教育活動を続けることが出来ました。加えて、学校よりご協力をお願いした、子どもたちまたは同居のご家族が体調不良の場合の念のためのお休みが功を奏しているところもあります。感染の可能性がある期間、学校に登校しなければ、学校での濃厚接触者を出すことはありません。引き続き、ご理解ご協力よろしくお願ひします。



9月はペア学習やグループ学習が出来ませんでしたが、10月からは少しずつ短時間から始めていきたいと思えます。体育の授業も、子どもたちの感染のリスクが低減するように工夫をして行っています。

